

集中豪雨時等における情報伝達及び高齢者等の 避難支援に関する検討報告

新潟県等に対する現地調査を実施の上、10/7に第1回会議開催後、3/28まで7回
会議開催。その間、先進的な自治体、障害者団体等との意見交換等も実施

検討報告 (3/28策定)

第1 避難勧告等の発令・伝達

- 避難準備 (要援護者避難) 情報の創設
- 避難勧告、避難指示等の意味合いの明確化・標準化
- 避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成

第2 災害時要援護者等の避難支援

- 「災害時要援護者支援班」の設置等による避難支援体制の整備
- 同意方式、手上げ方式、共有情報方式による災害時要援護者情報の共有
- 一人ひとりの災害時要援護者に避難支援者を定めた「避難支援プラン」の策定

第3 併せて講じていくべき対策

- 防災・危機管理研修 訓練を受講する仕組みの構築による首長・職員・住民の危機管理意識の醸成
- 気象官署、河川管理者と市町村との間で、ホットライン等を通じた相互の情報交換
- 数値予報等の予測技術の開発等による気象情報、河川の水位情報等の精度向上
- 災害時要援護者の特性に配慮した避難所運営等、避難場所対策の整備 等

避難勧告等の判断・ 伝達マニュアル作 成ガイドライン

- 避難すべき区域
- 避難勧告等の発令の判断基準 (具体的な考え方)
- 避難勧告等の伝達 等

モデル的な取組みを実施しつつ、市町村の取組促進のための環境づくり

災害時要援護者の避難 支援ガイドライン

- 課題1 情報伝達体制の整備
- 課題2 災害時要援護者情報の共有
- 課題3 災害時要援護者の避難支援計画の具体化

モデル的な取組みを実施しつつ、市町村の取組促進のための環境づくり

残された検討課題
・福祉関係者との連携のあり方、避難所運営等の災害時要援護者の支援全般
・標準的な危機管理体制モデル 等

更なる検討

避難勧告等の判断・伝達マニュアル 作成ガイドラインの概要

集中豪雨時等における情報伝達及び
高齢者等の避難支援に関する検討会

避難勧告等の判断・伝達マニュアル
<各市町村が作成>

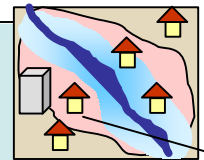
水害、高潮災害、土砂災害

津波は、市町村にお
ける津波避難計画等
において整備

対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所（破堤が想定される箇所等）

避難すべき区域

浸水深や破堤氾濫の破壊力、土石流の到達範囲等を考
慮して、避難勧告等の想定対象区域をあらかじめ特定



避難勧告等想
定対象区域

避難勧告等の発令の判断基準（具体的な考え方）

どのような状態になれば住民が避
難を開始する必要があるかをあら
かじめ確認し、関係機関から提供
される情報、自ら収集する情報等
を基に避難勧告等の発令の判断
基準（具体的な考え方）を整理

<洪水>

川（洪水予報指定河川）

避難準備	時間後に危険水位到達、..
避難勧告	時間後に危険水位到達、..
避難指示	堤防決壊、危険水位到達、..

災害時は気象官署等と
ホットライン等を通じて
情報交換等しつつ、
総合的に判断

避難勧告等の伝達

本ガイドラインを基に、市町村は上記マニュアルを作成することが必要。国は、都道府
県とともにモデル的な取組み等を実施しつつ、市町村等のマニュアル作成を促進する
環境づくりに取り組むことが必要

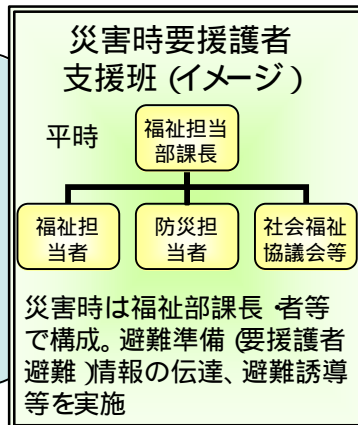
災害時要援護者の避難支援ガイドラインの概要

集中豪雨時等における情報伝達及び
高齢者等の避難支援に関する検討会

課題 1 情報伝達体制の整備

< 対策 >

- ・避難準備 (要援護者避難) 情報の発令
- ・市町村における災害時要援護者支援班の設置
- ・防災関係部局・福祉関係部局、自主防災組織、福祉関係者の連携強化 等



課題 2 災害時要援護者情報の共有

< 対策 >

- ・同意方式、手上げ方式、共有情報方式の組み合わせによる災害時要援護者情報の収集・共有。要援護者本人から同意を得た避難支援者間での平時からの情報共有 等

課題 3 災害時要援護者の避難支援計画の具体化

< 対策 >

- ・災害時要援護者一人ひとりの避難支援者を定めた避難支援プランの策定 等

豊田市、安城市、御殿場市等、
先進的な取組事例も紹介

避難支援プラン (イメージ)

市長殿
私は、災害時要援護者登録制度の趣旨に賛同し、同制度に登録することを希望します。また、私が届け出た下記個人情報をも市が自主防災組織、民生委員、社会福祉協議会、在宅介護支援センター、消防署、警察署に提出することを承諾します。

自治 区名	民生 委員	TEL FAX
災害時要援護者 < 高齢要介護者 一人暮らし高齢者 障害者 その他 () >		
住所	TEL	
氏名	(男/女)	生年 月日
緊急時の家族等の連絡先		
氏名	続柄 ()	住所
氏名	続柄 ()	住所
家族構成 同居状況等		居住建物の 構造
要と二人の老夫婦世帯。長男・次女 はいずれも結婚して県外に居住・・・。		普段いる部屋 寝室の位置
特記事項 要介護度4で一人では歩行が困難。人工透析を受けている。聴覚障害もあり、手話 通訳が必要		
緊急通報システム (あり/なし)		
避難支援者		
氏名	続柄 ()	住所
氏名	続柄 ()	住所

今後、国はモデル的な取組みを実施しつつ、市町村等の避難
支援プランへの取組みを促進する環境づくりに取り組んでいく
ことが必要

避難支援プラン・個別計画記載例 (表)

平成 年 月 日

市長殿

私は、災害時要援護者登録制度の趣旨に賛同し、同制度に登録することを希望します。また、私が届け出た下記個人情報を市が自主防災組織、民生委員、社会福祉協議会、在宅介護支援センター、消防署、警察署に提出することを承諾します。

自治 区名		民生 委員		TEL FAX	
災害時要援護者 < 高齢要介護者・一人暮らし高齢者・障害者・その他 () >					
住所				TEL	
氏名	(男・女)			生年 月日	
緊急時の家族等の連絡先					
氏名		続柄 ()	住所	TEL	
氏名		続柄 ()	住所	TEL	
家族構成・同居状況等			居住建物の構造	木造二階建て、昭和 年着工。	
妻と二人の老夫婦世帯。長男・次女はいずれも結婚して県外に居住・・・。			普段いる部屋		
			寝室の位置		
特記事項 要介護度4で一人では歩行が困難。人工透析を受けている。聴覚障害もあり、手話通訳が必要					
緊急通報システム (あり・なし)					
避難支援者					
氏名		続柄 ()	住所	TEL	
氏名		続柄 ()	住所	TEL	

(裏)

避難勧告等の伝達者・問合せ先 ××さん(自治会副会長)。なお、介護センターからも伝達予定。 聴覚障害のため、FAX・直接的な伝達が必要										
その他 担当している介護保険事業者名、連絡先等										
<p>避難場所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">避難支援者宅</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;"></td> <td style="text-align: center;">避難支援者宅</td> <td></td> </tr> </table>		避難支援者宅			避難支援者宅		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">避難所 (集会所)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">豪雨時等はマンホールに注意</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">冠水に注意</td> </tr> </table>	避難所 (集会所)	豪雨時等はマンホールに注意	冠水に注意
	避難支援者宅									
	避難支援者宅									
避難所 (集会所)										
豪雨時等はマンホールに注意										
冠水に注意										